

〔対象施設〕 陸前高田アムウェイハウス まちの縁側

〔施 主〕 一般財団法人日本アムウェイ財団
陸前高田市

〔設 計 者〕 株式会社隈研吾建築都市設計事務所

〔施 工 者〕 株式会社長谷川建設

1 建築概要

- 延床面積：529.92 m²
- 構造：木造
- 木材利用量：288 m³（陸前高田市産気仙杉材）
- 施設用途：観光案内所、障がい者就労支援カフェ、社会福祉施設、子育て支援施設

2 特徴

- 市内気仙杉材を構造材や内装材として利用した。
- 地元気仙大工の工法を応用した軒の出を深くする二段螺旋せがい造りを用い、大きな縁側を創出し、コミュニティーの再生に寄与する計画となっている。



気仙大工による軒の出が深いせがい造りの外観



海と山をつなぐ建物の中央部の長屋門



市産気仙杉の小屋組みを現しとした建物内部



建物外部（市産気仙杉（柱・梁））

〔対象施設〕 久慈市情報交流センター YOMUNOSU

〔施 主〕 久慈市

〔設 計 者〕 株式会社雷設計事務所

〔施 工 者〕 宮城建設株式会社・株式会社新田組特定
共同企業体

1 建築概要

- 延床面積：2,518.13 m²
- 構造：鉄骨造（内装木質化）
- 木材利用量：28.4 m³（久慈市産スギ材・アカマツ材・シラカバ材など）
- 施設用途：図書館、観光交流センター

2 特徴

- 天井には、市産スギ材・アカマツ材・シラカバ材を使用した。
- 壁の一部には、久慈市の多様な木材 13 樹種をブロック化し木の表情の違いをそのまま表すデザインとした。



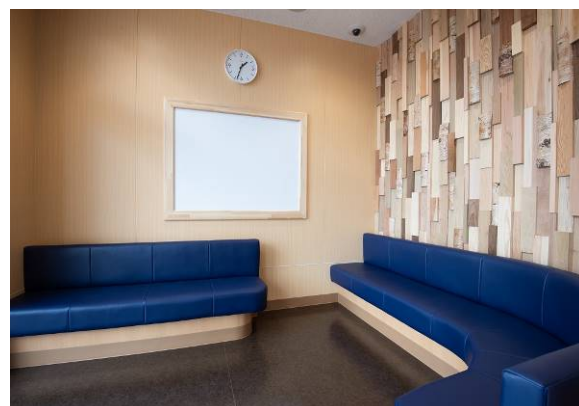
外観（入口部に市産アカマツ材）



市産シラカバを使用した天井化粧材



市産アカマツを使用した天井化粧材



市産材 13 樹種をブロック化した壁材